

はじめに

「筑波大学は教職の繋がりが全然ないなあ…」と
思っているそこのあなた！
「教育実習の準備って何をすればいいの？」とお困
りの後輩の皆さん！
「事後指導ではできなかったぶっちゃけトークをし
たい！」という先輩の皆さん！
「教員になって全国に散らばっても繋がる仲間を筑
波大学で作りたい！」というキミ！
そんな皆さんの想いをぜんぶ解消するイベントが
教育実習シェア会です。
これだけわかってもらえたらもうOKです(笑)。

教育実習シェア会で私たちが創りたいもの

これまでに、教育実習事前シェア会、教育実習事後
シェア会と2種類のイベントを行いました。これらの
2つのイベントで共通していることは先に述べたよう
に「筑波大学内の教職の繋がりを創る」ということ
です。
「事前」シェア会では、先輩たちの話を聞いて、後
輩が教育実習で「よりよい失敗をするために」とい
うテーマを掲げてイベントを行いました。時期は教
育実習目前の4月で、約40名が参加しました。前半
は先輩から教育実習に関するプレゼンを行いました。
生活面は福原遼平さん(教育研究科1年)、授業面は
大澤明梨さん(社会学類4年)、部活面は稲垣謙次郎
さん(人間総合科学研究科1年)がプレゼンをしまし
た。私が一番印象に残っているのは福原さんの「忙し
すぎて、解放されるのが夜中だけなのでATMが使い
えません。お金は事前におろしておきましょう。」です。
後半は先輩後輩を混ぜた小グループに分かれて質問
& アドバイスタイム。学校の事前指導では絶対聞け
ない様な質問がたくさん出ました。
「事後」シェア会の時期は実習が終わったばかりの
6月末と11月頭で、6月の第1弾では約30名が参加
しました。学校で行われる事後指導では、語りきれ
なかったところまで小グループに分かれて思う存分
語ってもらいます。前半のランダムグループ別では



「教室の教卓が及ぼす教員と生徒の関係性」という深
い話までいく班もあり、後半の教科別では教科観の
熱い話がそれぞれ聞けました。また、そんな先輩の
話を純粋に聞きたい、先輩たちと話したい、先輩た
ちと繋がりたいという、後輩の皆さんからも多くの
触発が生まれました。中にはイベントをきっかけに
運営メンバーになってくれた人もいました。
経験をシェアすることで得られるものはいっぱい
あると思います。経験はその人の一部なので、人間
理解にも繋がって、いつの間にか仲良くなっていま
す。だから私はこのイベント、メンバーが大好きで
す。こんな素敵な機会を持たせてくれた、T-ACTの
先生方、ご協力いただいた教職授業担当の先生方、
本当にありがとうございました。

長く続く筑波大学の教職の縦と横の繋がり「筑波教育ネットワーク」

このイベントの枠を超えて、筑波大学の長く続く
縦と横の教職の繋がりを作っています。筑波教育
ネットワークはFacebook上の繋がりですが、気軽に
悩みを相談できる場や、教育や教職のイベントの情
報を共有する場として設置しました。例えば「一緒に
試験の勉強をしましょう!」、「来週こんな教育のイ
ベントがあります!一緒にいきませんか?」など。ぜひ
ここでも繋がりを作って、将来、教員になっても初
心を思い出す仲間がいたら心強いですよね。そんな
関係が筑波大学から日本中に広まったらいいな、と
考えています。

Facebook group: 筑波教育ネットワーク



事前シェア会で生活面について
プレゼン中



スタッフのみんなと!
みんなラーメンが大好き!



事後シェア会でのグループ別の話し合い